

平成29年度 下京区運営の総括表(実績)

1 下京区基本計画に基づく着実なまちづくりの推進のために
 テーマⅠ 人と人との絆をつなぐ(人をつなぐ)

基本方針	29年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括、今後の方針等)	所属等
基本方針Ⅰ-① 健やかな暮らしを地域力で育む	地域ぐるみの子育て支援	子ども若者はぐくみ局(市), 子どもはぐくみ室(区)を設置し, 地域ぐるみによる子育て支援の環境づくりを推進します。併せて, 子育て家庭の孤立化や児童虐待などの未然防止を図ります。これらのため, 専門職によるアウトリーチ(積極的に地域に向向いて区民に寄り添う)型支援を推進します。	1 下京のはぐくみ文化発信事業 下京区の子育てに関する身近な情報をより多くの方に発信するため, 子どもねっと下京やたんぼぼ通信を発行するとともに, 平成30年3月5日(月)に「下京子育て応援情報」ウェブサイトを開設した。 2 妊婦相談事業 母子健康手帳交付時に保健師が面接を実施し, 妊婦の不安や育児環境等に対する相談を受け適切な支援を行った。 実績 母子健康手帳交付数 764件 3 こんにははプレママ訪問 初妊婦等のご家庭に対し, 妊娠中に保健師または助産師等が訪問を行い妊娠・出産・育児に関する相談や情報提供を行った。 実績 訪問数 273件 4 こんには赤ちゃん訪問 生後4箇月までの乳児のいる家庭への訪問を行い, 育児や産後の生活の相談を受け適切な支援を行った。 実績 訪問数 608件 5 下京赤ちゃんねっと事業 主任児童委員等が赤ちゃんが生まれた家庭を訪問し, 孤立防止のために地域の子育てを支援する関係機関につないだ。 実績 69件 主催 下京赤ちゃんねっと実行委員会 6 「下京たんぼぼ広場」の実施 乳幼児を養育中の親子のふれあいと交流の場を提供した。 日時 ①6月14日(水)②10月25日(水)いずれも10時30分～正午 場所 元安寧小学校 参加者 ①187人(大人87人, 子ども100人)②224人(大人99人, 子ども125人) 主催 下京たんぼぼ広場実行委員会	子育て家庭のニーズに寄り添った事業展開を図り, 子育ての孤立化や不安感の軽減を図っていく。	子どもはぐくみ室

基本方針	29年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括、今後の方針等)	所属等
基本方針 I-① 健やかな暮らしを 地域力で育む	地域ぐるみの子育て 支援		7 下京子育て支援講演会の実施 下京区子ども家庭支援ネットワーク協議会研修会を実施した。 ①11月1日(水)「子どもの背景にある貧困問題について」 64人参加 ②12月1日(金)「発達に課題のある子どもへの地域支援について」 31人参加 8 親子で楽しむ健康教室(出前教室) 児童館や子育てサロンに専門職が講師として出向き、講話を行い、相談に対応した。 遊びを通して親同志の交流や地域とのつながりが深められ、講師にも気軽に相談できる場となっている。 ①5月24日(水)「きしゃぼっぽ」個別相談 16組参加 ②7月5日(水)「ぶーさん」個別相談・講話 4組参加 ③7月7日(金)「いっしょにあ・そ・ぼ」個別相談 7組参加 ④8月2日(水)「修徳児童館」個別相談 14組参加 ⑤8月25日(金)「いっしょにあ・そ・ぼ」個別相談 22組参加 ⑥9月8日(金)「開智てんとむし」個別相談・講話 7組参加 ⑦9月27日(水)「きしゃぼっぽ」個別相談 11組参加 ⑧11月1日(水)「ぶーさん」個別相談・講話 14組参加 ⑨11月22日(水)「きしゃぼっぽ」個別相談 5組参加 ⑩1月19日(金)「いっしょにあ・そ・ぼ」個別相談 22組参加 ⑪1月24日(水)「きしゃぼっぽ」個別相談 9組参加 ⑫2月23日(金)「いっしょにあ・そ・ぼ」個別相談 19組参加 ⑬3月7日(水)「ぶーさん」個別相談 12組参加 ⑭3月14日(水)「きしゃぼっぽ」個別相談 13組参加 9 ことHugmiプロジェクト(地域子育て支援拠点事業)への参加 発達が気になる親子をサポートする「ちょこちゃん」「ひかりちょこちゃん」への職員派遣 7回 10 次世代はぐくみプロジェクト事業 妊娠・出産・赤ちゃんのいる暮らしなどの講話を行い、「思春期における次世代を育む意識づくり」に繋がった。 2月23日(金)七条中学校3年生対象 性感染症講話 134人参加 3月12日(月)下京中学校3年生対象 思春期講座 195人参加 11 防煙セミナー たばこによる健康被害に関する知識の普及啓発を推進し、喫煙防止を図るため、保健師による講話を行った。(協力機関:NPO法人京都禁煙推進研究会,京都府医師会) ①7月3日(月)七条中学校1年生 144人参加 ②10月27日(金)下京中学校1年生 192人参加	地域の子育て支援力向上を図るため、講演会や研修等の充実強化を図るとともに、子育て世代だけでなく、これから子育てを担っていく思春期世代も含め、いのちの大切さを伝えていく。	子どもはぐくみ室
	「健康長寿のまち・下京」の実現	平成28年度に実施した「健康寿命の延伸」をテーマとするアンケートや区民まちづくり会議の部会での意見をもとに、区民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組む機運を高めます。また、地域包括ケアシステム及び専門職によるアウトリーチ型支援を推進します。	1 下京健康ビンゴ 区民が主体的に健康づくりに取り組み、今まで地域社会に関わってこられなかった方を含めて、広く区民が地域や社会に関心を寄せる契機となることを目指し、地域で実施されている取組や区役所で行う事業で健康づくりに資する事業を対象にして、ビンゴゲームの形式で事業の紹介を行い、参加を促した。 実施期間:11月10日～平成30年2月28日 カード配布数:3,200部 共催:下京区社会福祉協議会,下京区シルバークラブ連合会,下京区体育振興会連合会,下京区地域女性連合会,下京献血推進実行委員会,下京青少年活動センター,下京保健協議会連合会,下京民生児童委員会 協力:区内各地域包括支援センター・児童館,下京区地域介護予防推進センター,下京・高齢者権利擁護支援ネットワーク,下京区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会 2 祇園祭山鉾行事“ここだけの話”と礎石めぐり～明治期の苦難を乗り越えた町衆の力～(ふれあい事業) 元山鉾連合会理事長の深見氏を講師に迎え山鉾行事の始まりと明治期に迎えた苦難を町衆がいかに乗り越えたかという講演と、鉾建ての様子の映像を鑑賞し、区内にある鉾や山の礎石を歩いてめぐる事業を開催した。 日時 平成30年2月28日(水)13時～16時 場所 下京中学校成徳学舎,区内 参加者 52人	下京健康ビンゴについては、より多くの方に参加いただくため、事業周知の工夫や対象事業と協力機関の拡大を図り、平成30年度も引き続き実施する。	健康長寿推進課、地域力推進室事業担当

基本方針	29年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括、今後の方針等)	所属等
基本方針 I-① 健やかな暮らしを地域力で育む	「健康長寿のまち・下京」の実現		<p>3 地域における健康づくり事業</p> <p>(1) 出張型健康教室</p> <p>① 健康教室 区内の社会福祉協議会、児童館、小学校のPTA、中学校、長寿すこやかセンター等のさまざまな団体に出張型の健康教室開催を呼びかけ、下京区の健康課題や特性を踏まえた栄養、歯と口の健康、運動、休養、感染症、子育て等の幅広い健康教室を開催した。(計12回・455人参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月26日(金)社会福祉協議会事業参加者への講話「梅雨の過ごし方」・ストレッチ体操 ・6月27日(火)児童館を利用している保護者に講話「乳幼児の歯の健康」 ・7月11日(火)下京区内郵便局職員に講話「認知症ガイドブックの紹介」 ・8月18日(金)長寿すこやかセンター利用者への講話「お口の健康」 ・8月31日(木)地域支え合い活動入門講座での講話「高齢者の体とところ」 ・10月19日(木)尚徳学区高齢者への講話「下京区の健康課題について」 ・11月6日(月)成徳学区高齢者への講話「明るい心身で健康長寿」 ・11月17日(金)長寿すこやかセンター利用者への講話「インフルエンザ予防」 ・11月28日(火)洛央小学校PTAへの講話「栄養バランス・乳がんの自己検診法」、血管年齢・骨密度測定 ・12月19日(火)地域支え合い活動入門講座での講話「高齢者の体とところ」 ・2月6日(火) ひかり児童館利用の保護者への講話「歯と口の健康、乳がん・生活習慣予防について」・血管年齢測定 ・2月23日(金)七条中学生対象に思春期講座「性感染症について」 <p>② 保健指導や子育て相談等 地域関係諸団体主催のイベントに出向いて血管年齢測定、骨密度測定結果に基づいた保健指導や子育て相談等を実施し、幅広い年代層が主体的に健康づくりに取り組む機運を醸成した。(計9回・746人参加)</p> <p>【実施イベントの例】 「下京・京都駅前サマーフェスタ」、「たんぼっぼ広場」、「下京区ふれ愛ひろば」、「みなみ・下京健康まつり」、「下京つながりフェスタ」等</p> <p>(2) 区役所内実施型健康教室</p> <p>① 生活習慣病予防教室 ～脳血管疾患や骨粗しょう症を予防しよう～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時 11月20日(月) 13時30分～16時 内 容 血管年齢測定、講話:「脳血管疾患とその予防」・「血管に優しい生活について」・「脂質と上手に付き合おう！」 参加者 29人 ・日 時 12月6日(水)12時45分～16時 内 容 骨密度測定、講話:「骨粗しょう症とその予防」 参加者 24人 ・その他、新たに、3歳児健診に来所の保護者に対し、骨密度測定結果に基づく保健指導、乳がん検診来所者へ「乳がんモデル」を用いた自己検診法の指導など、健康づくりに関心を高める取組を実施した。(計15回・450人参加) <p>② 食育セミナー 栄養バランスのよい献立や食事の適量を知る等のテーマで講話、調理実習、試食を伴う教室を実施した。(計8回・119人参加)</p> <p>③ 健康づくりサポーター(しもけんズ)養成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時 9月5日(火) 13時30分～16時 内 容 下京区の概要と健康課題、健康づくり・サポーターに関する講話 参加者 11人 ・日 時 9月19日(火)13時30分～16時 内 容 栄養、歯と口の健康、その他健康づくりに関する講話、実技・運動指導 参加者 8人 <p>【参考】サポーター登録者20名(H30年3月現在)</p> <p>④ 健康づくりサポーター スキルアップ教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時 10月3日(火)13時30分～15時40分 内 容 骨粗しょう症・動脈硬化についての学習、骨密度・血管年齢測定、ラジオ体操の動きの確認、ステップ台を用いたロコモ予防体操の復習 参加者 5人 	地域の健康課題に即したテーマで、幅広い年代層を対象とした講演会をはじめ、出張型の教室を実施し、健康長寿のまち・下京を推進していく。	健康長寿推進課

基本方針	29年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括、今後の方針等)	所属等
基本方針 I-① 健やかな暮らしを地域力で育む	「健康長寿のまち・下京」の実現	平成28年度に実施した「健康寿命の延伸」をテーマとするアンケートや区民まちづくり会議の部会での意見をもとに、区民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組む機運を高めます。また、地域包括ケアシステム及び専門職によるアウトリーチ型支援を推進します。	4 健康づくりに取り組む団体等の支援 (1) 健康づくりサポーターの活動支援 活動方針に関する相談対応、スキルアップ教室等を通じた正しい知識や情報の提供(年1回開催)、健康づくりサポーターのPR、イベント等での活動機会の提供、他の健康づくりグループとの交流支援を行った。 (2) 下京歩歩(ぼっぼ)塾 IT歩数計をつけたウォーキングで歩くことを習慣づけ、地域ぐるみの健康づくり活動を行い、区民の健康増進を図る事業であり、平成28年度からは塾生による自主運営を行っている。区役所は、活動方針の相談対応、下京歩歩塾と関係機関の連絡・調整等の支援を行っている。 ・散歩会 月1回程度実施した。 ・ヘルスピア21によるミニ講習会や、同志社大学協力のもと実施した筋力測定、保健福祉センターで実施している食育セミナーへの参加等も積極的にを行い、健康寿命の延伸につながる活動を行っていた。 ・平成29年度には、下京歩歩塾のHPも塾生主体で作成し、活動予定や報告、新たな塾生の参加募集等の情報発信を行った。 【参考】塾生数 54人(H29年4月当初) (3) 自主グループ3団体の取組支援 ※3団体…「メタボやっつけ隊 しもけんズ(健康づくりサポーター)」, 「てくてくウォーキングサークル あ！ルック下京」「下京歩歩塾」 8月～平成30年3月にかけて4回会議を開催し、11月27日(月)に3団体合同で歩こう会を開催した(28人参加)。 5 高齢者便利帳シニアお出かけマップの普及 地域包括支援センターが中心となり作成したマップを、区民の皆さんに利用していただけるよう普及に努めた。平成30年3月には、地域ケア会議等での意見を踏まえ、情報を更新したVer.3が発行された(2,500冊)。	健康づくりサポーターの活動を支援し、区民が健康づくりに取り組む場や健康に関する情報を得られる場を広げる。 下京歩歩塾や自主グループについては、自主性を尊重し、自らが、区民とともに健康づくりに取り組むことを支援する。 高齢者便利帳シニアお出かけマップは、今後も地域包括支援センターが中心となり、最新情報に更新される予定のため、より多くの方に向けていただき利用していただけるよう努める。	健康長寿推進課
基本方針 I-② 近所のお付き合いで安心を支える 基本方針 I-③ 地域力を生かして安全を高める	安心安全なまちづくり	地域の各種団体、小中学校、商業施設関係者、事業者、行政機関により構成する「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 下京区推進協議会(以下、「下京区推進協議会」という。))が策定した「下京区運動プログラム」(具体的な取組の指針)に基づく取組の一つとして、平成28年度に、「自転車盗難防止」部会・「万引き防止」部会を実施しました。これらの部会での意見をもとに、より効果的な犯罪防止の取組を進めるとともに、「特殊詐欺」などの課題に対しても、地域ぐるみで取組を検討します。また、「下京区防犯の日(毎月14日)」の防犯カラー(スカイブルー)ライトアップにより、安心安全への機運の向上を図ります。	【下京区推進協議会の主な取組】 1 下京区推進協議会 安心安全の取組や防犯カメラ設置促進補助事業への助言などを委員からいただき、その御意見をもとに様々な事業の実施や啓発グッズの作成等を行い、犯罪防止に取り組んでいる。 開催日 ①8月25日(金) ②平成30年3月2日(金) 2 下京区推進協議会「特殊詐欺部会」 近年、犯罪被害が多くなっている、「特殊詐欺」に対する犯罪防止の取組強化のため、下京区推進協議会の部会を協議会委員の他、特に犯罪被害となりやすい高齢者との関係が深い団体(下京区社会福祉協議会、下京民生児童委員会、下京区シルバークラブ連合会)に参加していただき、御意見をいただいた。部会は2回開催し、2回目の部会では、効果的な啓発グッズの作成や配布方法について意見交換を行った。その意見に基づき、啓発グッズの作成を行い、犯罪件数減少に取り組んだ。 開催日 ①12月7日(木) ②平成30年1月22日(月) 3 安心安全強化活動 (1) 2017秋の陣 京都駅前セレモニーや防犯ミニコンサートなどを開催した。 日時 10月12日(木)16時～16時30分 ※降雨のため、パレードは中止 参加者 200人 (2) 2018春の陣 下京区の誕生日である3月14日には、京都駅前において区民、企業、行政が一体となり「オール下京」が参加して、女子プロ野球チーム京都フローラの選手による、一日下京区長、一日下京警察署長、一日下京消防署長に安心安全宣言を行っていただき、特殊詐欺をテーマとした防犯劇を開催し、参加者による防犯グッズの配布を行った。 日時 平成30年3月14日(水)15時～16時 参加者 200人 4 「下京区防犯の日(毎月14日)」のライトアップ等 京都タワーや区役所などを防犯カラーのスカイブルーにライトアップするとともに、協力していただける企業や行政機関などに横断幕や懸垂幕を掲示していただき、機運向上を図った。 5 その他 区内各箇所下京警察署とともに区民、企業などの協力を得て、防犯の啓発活動を定期的実施した。	下京区運動プログラムに基づき「安心安全な下京区」を目指して取り組んで行く。	地域力推進室防災担当

基本方針	29年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括、今後の方針等)	所属等
基本方針 I-② 近所のお付き合いで 安心を支える 基本方針 I-③ 地域力を生かして 安全を高める	安心安全なまちづくり	(推進協議会以外の取組)	1 下京区安心安全ネット継続応援事業 下京区の各地域で、安心・安全なまちづくり活動に必要な事業費用に対する補助を行い、地域の安心・安全なまちづくりを支援した。 補助金交付学区(5学区):修徳、尚徳、稚松、崇仁、西大路 学区での具体的な取組: 安心安全活動時のベスト及び帽子的の作成、エアポンプ及びハンドメガホンの購入、災害時など非常時に活用するテントの購入、通学路に電柱幕を設置 2 各学区の防災訓練への支援 各学区では、大規模災害に備え初期初動や初期消火訓練など様々な訓練が実施されている。 平成29年度は、近年課題となっているペット避難について、災害発生時に対応ができるようペット避難訓練の支援を行った。 支援を行った学区(4学区):郁文、豊園、格致、七条	地域の安心・安全なまちづくりを支援し、区民の皆さんの防災意識の向上を図っていく。	地域力推進室防災担当
	不良な生活環境の解消	いわゆる「ごみ屋敷」などの地域課題の解消を進めるため、地域あんしん支援員や、地域、関係機関と連携しながら、対象者に寄り添った支援を行うことを基本に、より困難な対象者に重点的に対応します。	1 「不良な生活環境を解消するための支援等に関する」下京区役所対策事務局メンバー会議の開催 29年度を通して、4件(28年度からの継続3件、29年度新規1件)について対応方針を定め、取組を進めている。 開催日 ①8月2日(水) ②12月20日(水) ③平成30年3月2日(金) 2 支援内容 ・下京区役所、地域役員、区社会福祉協議会などが連携して清掃等を行い、29年度を通して、4件中2件は不良な生活環境が解消された。 面談や清掃などを拒む方に対して、地域、関係機関と連携し粘り強くアプローチを試みる中で関係を築き清掃支援に結びついた。残る2件についても解消にむけ関係機関と連携し、寄り添い支援、改善指導を実施した。	不良な生活環境を解消するための支援等を円滑に進めるため、地域、関係機関及び区関係課と連携し、寄り添い支援及び清掃支援を行う。 また、生活環境が改善された以降も、再発防止の観点で、継続的な支援を地域、関係機関で行う。	地域力推進室、保健福祉センター
	※重点取組以外の取組		1 「下京こころのふれあいネットワーク」(地域住民団体や保健、福祉、医療等の関係機関により構成)事業の推進 (1) 「こころの健康」をテーマとする講演会 日 時 12月4日(月)14時～16時30分 場 所 下京区役所4階会議室 内 容 講演(テーマ:「こころの病気を生きる力に変えて～地域の支え合いから多様な生き方の肯定へ～」、当事者からの体験談、福祉避難所についての情報提供等) 参加者 65人(うち、民生児童委員・老人福祉委員 9人含む) (2) 地域に Outreach して実施する学習会(地域懇談会) ①日 時 11月10日(金)10時～10時30分 場 所 区社会福祉協議会 内 容 活動紹介等 参加者 30人(学区社会福祉協議会会長ほか) ②日 時平成30年2月5日(月)13時30分～15時 場 所 下京老人福祉センター集会所 内 容 講演(テーマ:「健やかに日々を過ごすために～高齢者のうつ病について～」)、活動紹介等 参加者 54人(下京老人福祉センターの世話人・利用者) (3) ネットワーク活動等を知ってもらうためのパネル・作品展 期 間 11月27日(月)～12月6日(水) 場 所 区役所1階玄関ホール テーマ 「希望」 (4) ネットワーク活動等を掲載するネットワーク通信「下京こころほっとだより」 発行時期 11月(第11号)、平成30年3月(第12号) 発行部数 各400部	精神疾患等に対する正しい理解の促進を図り、地域の支援力を強化するため、より効果的な事業の推進に努める。	障害保健福祉課

基本方針	29年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括、今後の方針等)	
基本方針 I-② 近所のお付き合いで 安心を支える 基本方針 I-③ 地域力を生かして安 全を高める	※重点取組以外の取組		2 権利擁護等高齢者福祉ネットワークの推進 高齢者の権利擁護や高齢者に関する課題の解決に向け、高齢サポート(地域包括支援センター)が中心となって運営する「下京・高齢者権利擁護支援ネットワーク」が「区民が主役のまちづくりサポート事業補助金(以下、「サポート事業」という。)」を活用して、以下の事業を実施した。区役所も同ネットワークに参画し、共に取り組んだ。(実施主体:「下京・高齢者権利擁護支援ネットワーク」) (1) 高齢者なんでも相談会(区役所内で開催) 日 時 11月26日(日)10時～16時 参加者 31組 (2) 権利擁護講演会(区役所内で開催) 日 時 11月26日(日)13時30分～14時30分 参加者 80人 (3) 出張ミニ相談会 日 時 ①7月28日(金)13時30分～15時30分 ②10月18日(水)13時30分～15時30分 ③平成30年2月24日(土)13時～16時 場 所 ①下京総合福祉センター②修徳ふれあい福祉会館③七条第三小学校 参加者 ①10人 ②14人 ③8人 上記のほか、高齢者の権利擁護や高齢者に関する課題の解決に向け、隔月、定期的に地域包括支援センター及び関係機関と協議を行い、連携した。	講演会及び相談会については、毎回、参加者から「よく話を聞いてもらった」「解決の糸口が見出せた」など、好評をいただいている。また、事業を通し、ネットワークを構成する関係機関や、司法書士、弁護士、税理士など様々な専門職の参加者間の交流が深まることにより、高齢者にかかる支援の厚みが増すほか、円滑に連携できるようになっている。高齢者の権利擁護支援の充実に向け、関係機関と連携し、効果的な取組を進めていく。併せて、脳トレや骨密度測定を行うなど、健康づくり、健康長寿に即した取組を行い、総合的な高齢者の福祉を進める。	健康長寿推進課

基本方針	29年度重点取組			
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括、今後の方針等)

テーマⅡ まちの魅力や資源をつなぐ(空間をつなぐ)

<p>基本方針Ⅱ-① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ-② まちの個性を生かして 魅力を高める</p>	<p>京都駅西部エリアの 活性化</p>	<p>京都駅から西に広がる梅小路公園を中心とする京都駅西部エリアは、鉄道博物館の開業による更なる賑わい、また、京都市中央市場の整備、JR新駅の設置工事が実施されるなど、まちの様子が大きく変わろうとしています。 区民と企業との協働によるまちづくりを進め、更なる賑わいと回遊性のある地域を目指します。</p>	<p>1 「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト」との連携 京都駅から梅小路公園周辺の企業・団体が構成するプロジェクトに、区はオブザーバーとして参加。地域からは安寧及び梅逕学区自治連合会が特別会員として参加している。(会員数45団体) 梅小路FUN(季刊誌)やイベントチラシ、ガイドマップ、ポスター等の配布・広報支援と月1回の合同清掃への参加等を通して、賑わいのあるまちづくりに共に取り組んだ。 【主なイベント】 ・8月4日(金)～13日(日)京都・梅小路七夕あそび 参加者約105,000人 「京の七夕」と連携し、夜の梅小路公園も楽しんでいただける「あそび」をテーマにしたイベントを開催。 ・10月7日(土)～9日(月・祝)太陽と星空のサーカス 参加者約65,000人 遊び、楽しみ、つくる体験ができるワークショップ等大人も子どもも同じ目線で一緒になって楽しめるイベントを開催。 ・11月3日(金・祝)梅小路キッズアートキャンパス 参加者約2,500人 様々な企業・団体によるワークショップやステージイベント等親子で一緒に気づきや学びが楽しめるイベントを元安寧小学校・元梅逕中学校を会場に開催。 ・平成30年2月2日(金)～14日(水)京都・冬の光宴 参加者約20,000人 梅小路公園内の遊歩道等を星屑のような光でライティングしたイベントを開催。 今回も、ひと・まち・店をつなぐ「てくてくバル&スイーツ」を同時開催、2月11日(日)にはコスプレイベント「acosta!@京都・梅小路」を初開催した。 ・平成30年2月2日(金)～25日(日)(募集期間)京都・梅小路フォトコンテスト 地域の魅力を伝えるフォトコンテストを初開催、受賞作品をパネルにして会員企業・団体等で展示する。区役所1階玄関ホールで3月19日(月)～30日(金)まで展示。 2 「京都駅西部エリアまちづくり協議会」との連携 「京都駅西部エリア活性化将来構想」に掲げる将来ビジョン(多彩な地域資源をつなげ、京都の新しい賑わいを創出するまち)の実現を目指し、企業、東・西本願寺、龍谷大学、大内及び七条学区自治連合会、商店街等で構成する協議会に区も参加している(会員数19団体(市からは3部署が参加))。 補助金交付事業の広報支援等を通じて、賑わいの創出に共に取り組んだ。 【補助金交付事業】 ・京都えきにし商店街スタンプラリー(梅小路活性化委員会) ・梅小路公園芝生広場ウィンターオーバーシード事業(梅小路公園・冬芝を育てる会) ・エキニシミライルミプロジェクト(京都リサーチパーク株式会社)</p>	<p>「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト」事務局、「京都駅西部エリアまちづくり協議会」の事務局と連携を一層深め、区民と企業との共同によるまちづくりの更なる推進を目指す。</p>	<p>地域力推進室</p>
--	--------------------------	--	---	--	---------------

基本方針	29年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括、今後の方針等)	所属等
基本方針Ⅱ-① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ-② まちの個性を生かして魅力を高める	京都駅東部エリアのまちづくりの推進	平成35年度の京都市立芸術大学の崇仁地域への移転の機運を高めるため、地域が進めるエリアマネジメントが円滑に進むよう支援するとともに、下京区全体で機運の醸成を図ります。	1 「京都市立芸術大学を核とした崇仁エリアマネジメント」準備組織との連携 (1) 崇仁新町への支援 地域、京都市立芸術大学、行政、学識が参画する準備組織において、崇仁地域に迎える市立芸大を中心とするまちづくりについて協議が進められてきた。より本格的で継続的な地域のにぎわいづくりに向けて、にぎわい創出部会として、一般社団法人「涉成薬市洛座」が設立され、同法人による運営で、平成30年2月に塩小路高倉の市有地において、暫定活用として、常設型屋台を設置した「崇仁新町」がオープンした。 市民しんぶん下京区版への掲載等広報支援に取り組んだ。 開設場所:塩小路高倉東南角 運営主体:一般社団法人涉成薬市洛座 施設概要:コンテナ8台を用いた半屋外の屋台による飲食、物販 計15店舗 2 歩いて発見 涉成スタンプラリー(都市計画局との共催) エリアマネジメント参加の5学区がより連携を深め、まちづくりに協力して取り組んでいく機運を醸成するため、5学区の運営により、各学区の魅力ポイントを回るスタンプラリーを実施した。 日 時:平成30年3月10日(土) 10時～16時 スタート会場:菊浜グラウンド又は西本願寺、ゴール会場:崇仁新町 ラリーポイント:伝道院、涉成園、文字天満宮、市比賣神社、五條会館など11箇所 参加者:256人 3 崇仁高瀬川保勝会との連携 高瀬川流域の4学区(銅駝、立誠、永松、菊浜)の保勝会も参加する中、4月8日(土)に崇仁高瀬川保勝会の設立総会が開催された。毎月第1土曜に高瀬川の清掃活動を行うとともに、春と秋には、4学区とともに一斉清掃も行われた。	平成30年度に立ち上げが予定されている「京都駅東部エリア活性化将来構想検討委員会」の事務局である総合企画局及び「京都市立芸術大学を核とした崇仁エリアマネジメント」の事務局である都市計画局の双方と連携を図っていく。	地域力推進室
	「下京・京都駅前サマーフェスタ2017」の支援	企業や歴史資源の集積する下京区ならではの取組として、京都駅ビル開発㈱、西本願寺、東本願寺、各学区や各種団体などと連携し、下京区の夏の風物詩として、まちの賑わいづくりを進めます。	日 時 8月26日(土)10時～17時 場 所 京都駅ビル駅前広場、東本願寺エリア、西本願寺エリア、梅小路エリア (イベント:7月28日(金)・29日(土)本願寺納涼盆踊り(西本願寺)) 参加者 約29,000人(イベント約14,000人) 内 容 西本願寺:門前町まちかどコンサート、京都漆器特別展 東本願寺:食とアートのマーケット、ツリークライミング 京都駅ビル:オープニング、KBS京都ラジオ生放送、ステージ JR西日本特設コーナー(ミニSL、子ども制服記念撮影等) 梅小路公園:ヨーヨー釣り、おもちゃすくい、水占い その他:ひんやり商店街(13店舗参画)	実行委員会のメンバーとの連携を深め、イベントがより一層定着するよう区役所としての役割を担っていく。	地域力推進室事業担当

基本方針	29年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括、今後の方針等)	所属等
基本方針Ⅱ-① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ-② まちの個性を生かして 魅力を高める	地域の魅力を高める まちづくりの支援	地元学区、事業者及び市内関係部署などと連携を密にしながら、空き家、防災、防犯などの課題を解決し、地域の魅力を高めるまちづくり活動への支援を行います。	<p>1 菊浜学区の取組(菊浜まちづくり推進委員会) 菊浜学区では、平成29年度から新たに3箇年かけて取り組む密集市街地・細街路対策の「防災まちづくり」(都市計画局所管)の取組に着手。平成29年度は、まちあるきやワークショップ、防災訓練を通じて、地域の防災上の課題を確認した。また、路地奥の住戸等は災害時に位置が伝えにくい、救助や初動体制が速やかに進むよう、住民同士で話し合い、路地や細い通りに名称(愛称)をつけ、消防や警察と情報共有を行った(サポート事業を活用)。</p> <p>また、平成28年度から継続して空き家の問題にも取り組んでおり、平成29年度は空き家所有者に対して、空き家の管理の状況や今後の活用意向に関するアンケート(20件送付中6件回答あり。)を実施した。</p> <p>更に、地域のシンボリックな建築物である五條会館について、大学に協力を依頼し、耐震診断を実施した。</p> <p>2 有隣学区の取組(有隣まちづくり委員会) 有隣学区では、平成28年度から密集市街地・細街路対策の「防災まちづくり」の取組を進めており、平成29年度はまちあるきで地域の防災上の課題を確認した後、ワークショップを重ね、住民の意見を反映したきめ細やかな防災マップを作成した。年度後半は、学区の総合的な防災まちづくり計画の策定に向けて、話し合いを進めてきた。</p> <p>平成26年度から空き家を地域資源として生かす活動に取り組んでおり、29年度は空き家所有者向けに活用事例や利用可能な助成制度をまとめた冊子を作成した。</p> <p>3 松原通境界活性化活動プロジェクト 昭和30年まで祇園祭の山鉦が巡行していた松原通において、山鉦巡行の復活とかつての松原通の賑わい再生を目的に、平成24年度に洛央小学校区の各学区が連携して「松原通境界活性化活動プロジェクト」を結成。平成29年度はサポート事業を活用し、主に次の取組を行った。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「松原お迎え提灯灯し」の実施 洛央小学校と協力してお迎え提灯を設置し、山鉦巡行前夜に松原通を通る「日和神楽」を地域でお迎えすることで、かつての松原通のにぎわいを再現した。 日 時 7月16日(日) ・「松原通の駅」の開催 大学や事業者、商店街と連携し、松原通の魅力を発信する「松原通の駅」を年3回開催。今年は、新たな名物を目指してオリジナルパンを開発し、販売した。 ・松原フューチャーセッション 改めて現在の松原通を見つめ直し、更なる活性化に向けた取り組みを検討するワークショップを実施した。 <p>①平成30年3月13日(火)②平成30年3月28日(水)</p>	地域の課題や資源を生かした自主的なまちづくりの取組が進むよう、都市計画局、(公財)京都市景観・まちづくりセンター及び関係機関等と連携し、必要な支援を行っていく。	地域力推進室まちづくり推進担当
	※重点取組以外の取組		<p>1 訪日外国人マナー向上啓発活動(民泊バトルール) 施設管理者が常駐していない簡易宿所、いわゆる「民泊」が区内において急増しており、施設利用者による騒音や路上喫煙等が新たな地域課題となっている。</p> <p>この状況を踏まえ、下京警察署の呼びかけにより、地域住民、下京区役所、下京消防署による検討会議を開催し、合同で施設管理者及び施設利用者に対して「訪日外国人マナー向上啓発活動」を行った。</p> <p>検討会議:10月5日(木) 啓発活動:①10月31日(火)植柳学区、②12月12日(火)大内学区、③平成30年2月21日(水)皆山学区</p>	関係機関と連携しマナー啓発活動を行うとともに、事業者と地元の協定締結の促進や、優良な事例紹介などを通じて安心安全で地域と調和した宿泊施設の普及を図る。	地域力推進室まちづくり推進担当

基本方針	29年度重点取組			
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括、今後の方針等)

テーマⅢ 歴史と伝統を未来へつなぐ(時をつなぐ)

基本方針 Ⅲ-② 担い手の育ちを支える	地域コミュニティ活性化事業	<p>平成27年度に実施した「地域の繋がりがり・町内会に関するアンケート」や「学区会長と区役所幹部職員との懇談会」、「下京区人づくりネットワーク実行委員会」、まちづくりアドバイザーなどの意見を踏まえ、平成28年度に町内会の良さ(メリット)や町内会加入に向けた声のかけ方のコツやポイントをまとめた町内会長向けの冊子「あつてよかった！町内会！」を作成しました。</p> <p>平成29年度は、この冊子を活用し、町内会の加入を促進することで、下京区の「顔の見える関係づくり」を支援します。</p>	<p>1 「あつてよかった！町内会！」冊子の活用</p> <p>町内会の加入促進に向け、各学区の町内会長へ冊子を配布し、町内会活動の活発化を図った。(下京区内配布実績:679部 他行政区配布実績:20部)</p> <p>また、町内会の運営方法に関する相談において、冊子に基づいて助言を行い、地域の実態に合った町内会づくりを促した。</p> <p>2 地域力アップキャンペーン(平成30年3～4月)</p> <p>「京都市地域コミュニティ活性化推進計画」にもとづき、引越しの多い3・4月を地域力アップキャンペーンと位置づけ、全行政区が、自治会・町内会への加入促進の取組を強化していくとしている。</p> <p>下京区では、転入者に対して町内会への加入を促す専用フライヤーを新たに制作して配布するとともに、加入希望者に対しては町内会への取次も行った。</p>	<p>「あつてよかった！町内会！」を引き続き活用していただきながら、区役所においても地域力アップキャンペーン期間をはじめとする様々な機会を通じて、地域における顔の見える関係づくりを推進する。</p>	地域力推進室まちづくり推進担当
	まちカフェ事業の実施	<p>「下京・町衆倶楽部」の側面支援に加えて、下京の旬な人・モノ・場所をテーマに、地域の魅力を活かして活動する様々な方の体験を参加者が共有し交流する事業を実施することにより、新たなまちづくり活動を生み出します。</p>	<p>1 「下京アフターアワーズ」の実施</p> <p>下京の旬な人・モノ・場所を舞台に、地域の魅力を活かして活動する方々をゲストとして迎えて、その体験を共有し、ゲストと参加者、参加者同士の交流会を開催した。参加者は、新たな出会いやつながりの創出、起業マインドの醸成、地域の価値の再発見をすることができた。</p> <p>①8月30日(水)「お寺を楽しむこと」 龍岸寺(梅選挙区) 37人参加</p> <p>②12月14日(木)「いま、エキニシがおもしろい」 KYOCA会館(大内学区) 32人参加</p> <p>③平成30年3月12日(月) Kaikado Cafe(菊浜学区) 26人参加</p> <p>2 下京・町衆倶楽部への支援</p> <p>下京・町衆倶楽部の交流拠点(元安寧小学校)を確保し、「下京茶夜(毎月1回実施)」で、魅力ある下京区のまちづくりについて話し合った。</p> <p>また、ふれあいひろばにもブース出展し、会員やサポート事業採択団体の事業紹介を行った。</p> <p>3 「みなみなみなみ×しもぎょう」の実施</p> <p>南区民ふれあいカフェ「みなみなみなみ」に下京区が合同参加し、行政区の枠を越えて、南区と下京区のまちづくりに関心のある方が集まり、今後のそれぞれのまちで気になっていることを、「子ども・若者」「健康・福祉」「観光」「文化芸術」のテーマに分かれて話し合い、交流を深めた。</p> <p>日 時 12月18日(月)18時30分～20時30分</p> <p>参加者 40人(下京区から20名参加)</p>	<p>様々な出会いやつながりの場を提供し、区内でのまちづくり活動を盛り上げていく。</p>	地域力推進室企画担当

基本方針	29年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括、今後の方針等)	所属等
基本方針 Ⅲ-② 担い手の育ちを支える	「区民が主役のまちづくりサポート事業」の実施	<p>下京区内における自発的、主体的なまちづくり活動を支援します。</p> <p>平成29年度は、文化庁の全面的移転や京都市立芸術大学の崇仁地域への移転の機運を盛り上げるため、大学や学生グループが地域と連携して行う芸術活動を支援する「芸術文化枠」を創設するほか、継続して、「健康長寿」「安心安全」なまちづくりに寄与する活動は審査において加点し、下京区をより暮らしやすく、安心安全で魅力的なまちにすることを目指します。</p>	<p>募集期間 4月14日(金)～5月15日(月) 審査会 6月7日(水)、14日(水) 申請件数 44件 採択件数 31件</p> <p>【主な採択事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創造・発見・感動！小学生へのメッセージ(市立芸術大学 小学生へのメッセージチーム) ・洛央小学校の放課後まなび教室と共催して、小学1・2年生の児童と保護者が、市立芸大生の講師から、組みひもづくりをとおして、ものづくりの楽しさを学んだ。 ・11月10日(金) 約50人参加 ・防災・防犯対策及び無名路地に命名板設置事業(菊浜まちづくり推進委員会) ・災害時・非常時に備えて、住民の方々とまち歩きやワークショップを実施し、学区内の路地や細い通りに愛称をつけ、路地の入口に、銘板の取付を行った。 ・銘板を設置した路地 33本 ・高瀬川音楽祭2017(菊浜せせらぎまつり) ・高瀬川沿いのまち全体の地域活性化を目指し、コンサートなど様々な催しを開催予定 ・平成30年3月18日(日)12:00～16:30 五條会館歌舞練場 延べ150人参加 ・音もだち大作戦！0歳からの音楽会(ニコニコファミリーコンサート実行委員会) ・市立芸大音楽学部学生・卒業生有志により、小さな子どもとその家族と一緒に楽しめるオペラ公演を開催予定 ・平成30年3月18日(日)14:00～15:30 池坊短期大学こころホール 233人参加 	区民等の皆さんによる自主的・主体的なまちづくり活動を支援していく。	地域力推進室企画担当
	「下京区民まちづくり会議」の開催	<p>区民が主役の「下京区基本計画」の推進に向け、様々な分野でまちづくりに関わる方々から、幅広く意見をいただき、基本計画のより一層の進捗を図るとともに、区政に反映します。</p>	<p>日 時 ①11月20日(月)14時～15時 ②平成30年3月16日(金)13時30分～14時30分</p> <p>場 所 下京区役所会議室</p> <p>参加者 ①37人 ②45人</p> <p>協議事項</p> <p>①平成29年度下京区運営方針、平成28年度下京区運営実績、第2期下京区基本計画の総括に向けて(案)</p> <p>②平成29年度下京区運営実績、平成30年度下京区運営方針(案)について</p>	区民の皆さんの意見を広く聴き、取組を進めていく。	地域力推進室企画担当

基本方針	29年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括, 今後の方針等)	
基本方針 Ⅲ-② 担い手の育ちを支える	※重点取組以外の取組		<p>1 下京区ふれ愛ひろば(ふれあい事業) 子どもからお年寄りまで幅広い世代の区民が集まり, 互いに交流を深め, すべての世代の方々力が合せて下京区の魅力を発信する環境にやさしいまつりを開催した。 平成29年度は, 担当学区が出展する飲食ブースの内容や当日の運営方法について, 担当学区自らが企画段階から各担当学区間で調整や意見交換を行う自主運営方式とした。また, 会場内の回遊性を高めるため, 小学生を対象に, ブース内に置かれた札を探して抹茶体験ができる「100人de百人一首」を実施し, キッズコーナーに京都フローラの大型スライダーを設置した。 日時 11月12日(日)午前11時～ 場所 梅小路公園 参加者 約22,000人</p> <p>2 親子ふれあい かご作りと文化体験～PPバンドで作ったかごとお花を活けよう!～(ふれあい事業) 文化に触れる機会の創出と地域ぐるみで子育て支援の環境づくりを推進することを目的に, 文化体験を通して親子や人と人のふれあいを深めてもらう事業を開催した。参加者には, 市場開設90周年を迎えた京都市中央卸売市場協会から新鮮野菜の詰合せが進呈された。 また, 参加した子どもたちが作成した箸置きを「ふれ愛ひろば」で販売し, 収益を熊本地震等の義援金とした。 日時 10月7日(土) 午前の部9時30分～12時, 午後の部13時～15時30分 場所 梅小路公園 緑の館 1階イベント室 参加者 午前の部20組42人, 午後の部21組49人 共催 下京区地域女性連合会 協賛 京都中小企業家同友会(下京支部), 京都市中央卸売市場協会</p>	下京区ふれ愛ひろばの自主運営方式の定着を図っていく。	地域力推進室事業担当

基本方針	29年度重点取組			
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括、今後の方針等)

3 より一層信頼される区役所づくりのために

すべての職員が高い倫理観を持ち、法令に従い、これを確実に守るといふ基本を徹底することはもとより、創造的かつ主体的に職務を遂行し、来庁される皆様(来庁者)に満足いただける、より快適な行政サービスを提供する	公務員倫理及び法令遵守の徹底	職員に、より一層、公務員倫理及び法令遵守の周知徹底を図るとともに、組織・制度の改正についても、窓口などで十分に説明を行い、区民の皆さんの理解を得られるよう努めてまいります。	1 地域力推進室 全庁きょうかん推進部会で話し合われた、公務員倫理の高揚等の庁内改革策について、所属長への伝達と各所属に対する周知を徹底している。また、適正なサービスの確保に向けて、所属及び職員一人ひとりの意識を高めるため、適宜、出勤調査及び職場巡察を実施した。 2 区民部 あらゆる機会をとらえて、公務員倫理・法令遵守の周知徹底を図るとともに、迅速な事務処理を目指し、業務上での改善を図った。 3 保健福祉センター サービス規律の徹底を、機会あるごとに再確認している。また、取り扱う金銭が公金であることの意識付けを常に行なった。 窓口応対に当たっては、制度改正が行われたものについては、十分に説明を行い、市民への理解を得る努力を行い、また、ロビーで窓口を探している市民に対して積極的に声掛けを行った。	信頼される区役所づくりのため、公務員倫理及び法令遵守の周知徹底を図るとともに、制度改正についても、窓口等において十分な説明を行い、市民の理解を得られるよう努めていく。	地域力推進室 区民部 保健福祉センター
	市民サービスの向上	窓口アンケートの結果を分析し、課題とされる点について改善策を図り、実施することで、更なるサービスの向上に取り組みます。 また、保健福祉センターの設置に伴い窓口を再編しました。これに伴い、分かりやすい庁舎案内表示に努めるとともに、職員の「伝える力」「聴く力」を磨き、情報を迅速に分かりやすく伝えます。	1 「下京区役所庁内市民サービス向上等検討チーム」の取組(地域力推進室) ① 働き方改革プロジェクトチーム 職員アンケートによる意見をもとに、総合案内板を来庁者が見やすい場所に移動させたほか、各フロアには色別案内表示を新設し、各課の窓口における案内業務の軽減と効率化を目指した。また、職員一人ひとりが職務以外においても、地域のまちづくりに興味を持てるよう、地域が主体として活動する事業をチラシにまとめて全職員に紹介するとともに、プロジェクトメンバーが先頭に立って、地域の清掃活動にも参加した。 ② 聴く力伝えるカプロジェクトチーム 市民しんぶん下京区版「下京のひびき」について、より市民の方に伝わりやすい紙面づくりを目的に、紙面の改良に取り組んだ。具体的には、お知らせやイベント情報が記載されている4面を組織名のフォントを大きくしてメリハリをつけ、3面の「シモンちゃん4コマ漫画の内容について意見交換して記事に反映させ、1面のタイトル文字を変更した。 2 区民部 ・戸籍事務のコンピュータ化の完了(現在戸籍:平成28年7月、除籍・改製原戸籍:平成29年3月)に伴い、戸籍に係る証明書発行の迅速化や市内広域交付など、市民サービスの向上に取り組んだ。 ・職員の「伝える力」「聴く力」の向上による的確な事務と、少しでもお待たせしない応対を心掛けた。 ・婚姻届を出された方にお贈りしている「婚姻メモリアル証」贈呈の4周年を記念し、「ここにこ夫婦で幸せ(4合わせ)事業」として、区内の企業等から提供された記念品を併せて贈呈した。 3 保健福祉センター 機構改革後の各窓口の業務内容を、正確に把握し、正しい窓口へ案内できるよう努めた。 また、市民のニーズを的確に把握し、保健・福祉を融合させ、総合的な観点からサービスにつながるよう努めた。 担当業務・制度の内容について分かりやすく丁寧に説明を行うよう努めた。	サービスの状況を確認し、市民の視点に立った極め細やかな対応を心がけるとともに、職員の働き方に関しても職場全体で考える機会を醸成することにより、サービスと満足度の向上に取り組んでいく。	地域力推進室 区民部 保健福祉センター
	働き方の改革	若手職員を中心として庁内プロジェクトチームを立ち上げ、効率的な事務の遂行や仕事をスムーズに行ううえでの工夫などを話し合い、その提案を実施するとともに、地域のまちづくりへの参加、区民の文化事業への参加を促進し、「真のワーク・ライフ・バランス」を区役所が率先して推進します。		引き続き、働き方や職場の改善に関して区役所全体で考える機会を醸成し、職員が職場、家庭、地域において活躍できる環境を整えることにより、区民へのサービスと満足度の向上へ繋げていく。	